

ひだか南森林組合を中心とした 北海道産広葉樹の 付加価値向上への挑戦

- 北海道の広葉樹を活用し新たな販路を開拓していこう、という動きが静かに広がっています。それも銘木市で見るような巨木・銘木ではなく、**曲がりや節などの欠点のある丸太**に光を当てた試みです。
- ひだか南森林組合では、チップ用・燃料用として集められた“**欠点のある広葉樹丸太**”から、**製材として利用できそうな丸太を選別し**、加工、販売する取組を2020年から進めています。
- 品質のバラツキが大きい広葉樹低質材を挽き板や木工用の短尺材等に加工することで、**北海道の広葉樹に対する新たなニーズを開拓**します
- チップより価格の高い製材として利用することで山への利益還元や山づくりへの意欲の喚起も期待されます。



製材用に選別された広葉樹



広葉樹製材

JAPAN ReWOODでは“ひだか南の広葉樹”を使ったボールペンの試験販売をしています